

日本3番目の選定



竹脇 一美 議員

魅力ある風景を未来へ残すため、重要な文化的景観に海津、西浜、知内地域が文化庁から注目をあびている。岩手県の一関市、近江八幡市に続いて3番目となるのか。

昔見たふるさとの風景が、数十年経っていつの間にか失われていたというようなことになるのでは。身近な景観で日頃からその良さに気付かないものが多い。地域の生活、生業に根ざした景観を次世代へ引き継ぐことは私たちの使命であり、文化的景観に



海津湖岸の石積み

対する理解の促進、魅力ある地域づくりの推進、コミュニティの活性化を図ることが重要であると考えるが、市の支援策について何う。

積極的な推進に努めます

文化的景観の重要性は、指摘のとおりであり、

り、平成17年4月に文化財保護法の改正によって、保護制度に加えられました。市内には多くの文化的景観があり、そのひとつに海津・西浜・知内地域の景観を選定しました。

文化庁の選定を受けるにあたって、地域住民のご理解や重要景観構成要素となる物件の所有者の同意が必要となりますが、日本3番目の選定を受けるべく、ご理解とご協力を得るため、積極的に努めてまいります。

また、選定後における保存は、健全な状態で未来に継承していくため重要であり、管理保存に対する支援は、市の文化財行政のうえから必要と思えます。

◆自治会強化

◆地上デジタル化の対応

高島らしい市民協働の推進とは



山川 恒雄 議員

①「まちづくり委員会」と新たに組織化される「市民会議」について、区・自治会の立場なり拠点施設の関係も含め問う。

②市民協働と行政の位置・役割について、19年度予算における具体的な事業を問う。

③高島らしい市民協働の推進について、今後の具体的実践スケジュールを問う。

◆市民の皆さまの参画

これからは、地縁組織とテーマ型組織との連携とネットワークが必要であり、将来、まちづくり委員会が「市

に医師の当直明けは休診となる様、市民・患者さんに理解を得る方策を構すべきことを提案する

◆病院管理部長

常勤医師25名が22名に減少予定から、非常勤を含め県や大学病院へ精力的に要請、併せて機器整備、宿日直手当等処遇改善に努めます。また常勤看護師128名中病棟看護師80名です。今後、支度金制度や修学資金貸与額、夜間勤務手当の改善をします。尚、産科問題等は慎重に対処し広報紙や病院だよりで周知を図ります。



課題の多い小中・中高一貫



福井 節子 議員

高島の経済は県内でも下位にあり、教育も格差拡大の中で機会均等が脅かされようとしている。小中・中高一貫教育は今の教育課題に有効なのか。コース別選択制などで、格差を拡大する。底上げこそ切実だ。更に、安曇川高校の中高一貫校には課題も多く進路の選択肢も狭め、市立中学校の存亡にも係わり高島の地域に適さないと思うがどうか。

両校の教育方針共有により教育効果を高めようとするものです。習熟度・コース別学習は、個に応じたきめ細かい指導がねらいです。また市内中学生の減少等による課題を克服し、高島らしい中高一貫教育校が開校され、六中学校が一層独自性を発揮できるよう尽力します。

◆教育次長

保幼・小・中・高のつながりある教育を

小中一貫教育は中学校進学後の意欲低下や不登校等の急増を防ぎ、

◆産業循環政策部長



申請者・施業者等大変好評であり、市内施業者のノウハウを生かした「高齢者に優しいリフォーム」の積極的取組みで、事業の拡大を図りたいと考えます。

地域通貨も、消費者が喜んで利用し加盟店もメリットを活かし、販売促進につながる仕組みと支援策を求めます。

各店舗のプレミアムをつける努力や地域通貨でないか買えない商品、商工会はイベント開催など様々な検討のなか、初期導入に必要な経費を支援したいと考えます。

高島市の総合活力を生む行政企画の推進と実行を問う



林 弘 議員

合併して2年、行政と議会の集大成として本年は高島市の総合活力を生む行政の企画推進と実行による実現の年として、一致協力して市民の期待に明確な解答を出し、行政の信頼を確立することで

完成された。後は力強い実行があるのみである。数多い事業計画の中で確実に実現すべき中心事業の方針と計画を問う。

高島市の新年度における取組みにつきましまして、今定例会に上程させていただきます。総計画案の理念であります「お互いさま」と「おかげさま」が対流する「環の郷たかしま」の実現に向け、5つの主要政策「心の通う人づく

問題は今山積している。行政は市民のためである。財政困難の中でも市民の要望にこたえるために、本年は「環の郷たかしま」の総合計画発表により実現目標が

